

本時のねらい

・様々な生活行為によって、住まい方の違いがあることを理解し、家族が心地よく住むための工夫をすることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・オクリンクを活用し、間取りに応じて人を配置することで、自分の考えを深め、表現することができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ iPad ・ 電子黒板 ・ オクリンク

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (3分)	<ul style="list-style-type: none"> ○生活行為と住まいの空間の例を思い出す。 ○本時の課題提示 「家族にあわせた住まいの空間の使い方を考えよう」 	
展開 (32分)	<ul style="list-style-type: none"> ○4人家族の希望を調整して、部屋の使い方を考える。 ○3種類の間取りから、どれを選ぶか考え、空間の使い方を考える。(個人→班) ○班での交流をもとに、意見を変えたい人は変える。 ○4人家族の中に、祖母も一緒に住むことになったときの部屋の使い方を考える。 ○部屋の使い方の工夫を個人で考える。 ○ペアで意見を交流する。「なぜ○○にしたんですか？」 ○考えをオクリンクで提出し、同じ間取りを選んだ人の中から気になった人に話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オクリンクの画面上で、間取りに応じた人の配置を考える。 ○考えがどのように変化したかを確認するため、4人家族での使い方を、スクリーンショットで残しておく。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○4人と5人でどう変わったかをオクリンクで提出し、全員で共有する。 ○各間取りで1人ずつ発表する。 ○振り返りを書く。 「4人と5人の住まい方を比べてみると…」 	<ul style="list-style-type: none"> ○オクリンクで全員の考えを共有し、自分の考えと比べる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：班で自分の意見を見せ合い、交流している様子



写真2：ペアで意見交流する様子



写真3：振り返りをiPadに入力し、提出する様子

児童生徒の反応や変容

- ・間取りに応じて人を配置する作業を通して、「こっちの方がいいかな」と何度も試行錯誤することができていた。
- ・友だちにiPadを見せながら説明することで、聞いている人も「それだったらこっちの方が良くないかな？」と対話を深めるきっかけにもなっていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・iPadを活用することで、一人ひとりが自分の意見を表現することができ、意見を付け加えたり、変えたりが簡単にできるので、紙に書くよりも考えを深めやすい。
- ・授業内で全員の意見を発表する時間が取れなくても、オクリンクに提出することで、瞬時に意見を共有でき、様々な考え方があることに気づくことができる。